

事業の概要

「地産地消ビジネス創出支援事業」には、
1年目の育成プログラムと2年目の補助プログラムがあります。

▶ 地域資源を活かした新たなビジネス創出を目指す事業者の皆様へ

STEP 1 育成講座 (令和8年9月～令和9年1月)	全5回の講座で、事業プランのブラッシュアップを支援します。
STEP 2 補助プログラム (翌年度)	選定された事業者には、事業開始に係る経費の50%以内(上限100万円)を補助。補助金申請・交付決定後に事業を開始していただきます。
STEP 3 事業支援・報告	専門家による相談支援や、マルシェ等への出店支援を実施。 事業開始後は中間報告会や、3年間の経過報告書提出が必要です。

※補助金交付申請書受理から補助金交付決定までは最短でも1ヵ月程度かかります。

▶ 事業の流れ ※今回の募集対象は1年目の方のみ



1年目 育成プログラム〈育成講座受講者募集〉



申込期限 令和8年
8/30日 必着

募集人数 **10名** (予定。応募者多数の場合は選考)

申込方法  申込フォームは
こちらから

※二次元コードからお申込みをお願いします。

受講料 **無料**

受講決定の
通知発表 令和8年
9月中旬頃 を予定

問合せ及び
書類提出先 横浜すみどり環境局農業振興課ビジネス担当
〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10
TEL 045-671-2639 FAX 045-664-4425
E-mail mk-tisantisho-news@city.yokohama.lg.jp

募集対象

▶ 事業者の要件

次の各号を全て満たすものとします。

- ① 地産地消ビジネスに取り組む意欲があり、全講座の受講及び選定懇談会への参加が可能なる方。
- ② 市内に事務所等を有し、市内で活動を展開しているもしくはこれから活動を開始する中小企業、特定非営利活動法人および新規創業者。
- ③ 横浜の農業・農畜産物のPRや地産地消に寄与する事業に自主的に取り組む方。
- ④ 次年度以降も継続して活動する見込みのある方。
- ⑤ 市税を滞納していない方。

▶ ビジネスプランの要件

- ① 市内産農畜産物の消費拡大に寄与するもの
- ② 消費者に市内産農畜産物を積極的に提供するもの
- ③ 市内産農畜産物を活用した加工品の開発など、付加価値を増大させるもの
- ④ その他、市内の地産地消に寄与するもの

講座受講料
無料

令和8年度

地産地消ビジネス創出支援事業

育成講座 受講者募集

のご案内

地元食材で新ビジネスを切り拓く

横浜の農を生かした
新たなブランド
づくりをしたい!

横浜の食材を使った
銘産品、お土産
を作りたい!

市内産農畜産物
の魅力やサービスを
広げたい!

横浜市は、横浜みどりアップ計画に基づき、
地産地消活動のビジネスを通じて、ともに「横浜農場」を盛り上げてくださる
事業者及び新規創業者を応援します。

ビジネスプランの策定に向け、6次産業化のコンサルタントや
ベンチャービジネス等のプロフェッショナルが、
全5回の講座を通して個別のサポートを行います。
選ばれたプランに対しては、事業開始に係る一部経費を補助します。

横浜農場とは

「横浜農場」は、食や農に関わる多様な人たち、農畜産物、農景観など、横浜らしい農業全体を農場として見立てた言葉です。横浜市では、この「横浜農場」を使い、横浜の農業のPRを進めています。

横浜みどりアップ計画

横浜市は、「緑豊かな横浜を次世代に」引き継ぐため、平成21年度から「横浜みどりアップ計画」に基づき緑の減少に歯止めをかける取組や、市街地における緑の創出を進めています。



横浜みどりアップ計画

育成講座 スケジュール

育成講座の日程と各回の講師プロフィールは以下のとおりです。
講座の回によって開催する曜日が異なりますので、日付・曜日にはご注意ください。

会場 神奈川中小企業センタービル13F 第1会議室 (横浜市中区尾上町5-80)

全5回
連続受講

第1回

令和8年
9/29 火
13:30-16:30

地産地消ビジネスのコンセプトづくり

「なぜこのビジネスをやるのか?」という目的や、地域への想いを言葉にすることからスタートします。ターゲットとなるお客様(顧客像)やそのお悩みをじっくり深掘りし、共感してもらえるビジネスの土台(コンセプト)を組み立てます。

第2回

10/22 木
13:30-16:30

価値提案と競合差別化

お客様に「これ、欲しかった!」と言ってもらえるような、あなたの商品・サービスならではの魅力を形にしていきます。ライバル(競合)をリサーチしながら、「自分だからこそ提供できる価値」を整理し、想定するお客様の声も参考にしながら、ビジネスの方向性を確かなものにしていきます。

第3回

11/19 木
13:30-16:30

地産地消ビジネス選考事例紹介

地産地消ビジネスの「先輩たちの成功事例」から、具体的なヒントを学びます。地域の食材をどうやって伝え、どうやって届けるのか、協力してくれる連携先をどう増やすのかなど、頭の中のアイデアを「実際に動かせるカタチ」へと具体化していきます。

第4回

12/17 木
13:30-16:30

収益性の論理とプレゼン構成法

ビジネスを長く続けていくために欠かせない「売上」と「コスト」のバランスを可視化し、しっかり利益が出る仕組みを検証します。あわせて、自分のビジネスの魅力を、相手(聞き手)に納得してもらえるような分かりやすい順番で伝える「プレゼンのコツ」を学びます。

第5回

令和9年
1/19 火
13:30-16:30

ビジネスプラン発表会・プレゼンテーションのブラッシュアップ

10分間で、あなたの熱い想いと事業計画をまっすぐ伝えるプレゼン力を身につけます。実践的な練習を通じて、話し方や内容の改善点をクリアにし、本番の選定懇談会に向けて自信を持って発表できるよう最終調整を行います。

選定
懇談会

2/9 火
13:30-16:30

補助プログラム選定懇談会

有識者に対し事業計画を発表し、評価を行います。

講座は
グループワークを
取り入れながら
進行していきます。

講師プロフィール



湯浅 孝司
中小企業診断士

地域産品のブランディングや事業構想支援の経験が豊富なプロジェクトマネージャー。農業者や中小企業等と伴走し、「地産地消」「農福連携」といった地域性を活かしたビジネスデザインや、デジタルを活用した販促戦略に強みを持つ。講座では、受講者の想いの言語化から持続可能な収益構造の設計までを実践的にサポートし、学びと実践をつなぐ場を提供します。



石井 瑠美
中小企業診断士

地域の農林水産業振興や課題解決に高い専門性を持ち、行政や企業など多様な主体と連携した持続可能な産業づくりに取り組んでいる。現場を起点とした調査設計やデータ分析、農商工連携によるプロジェクト立ち上げ、地域資源を活かした商品開発等に精通。講座では、参加者一人ひとりの意見を丁寧に引き出す、定評のあるファシリテーション力で講座を運営します。

参考

▶ 令和5年度の補助プログラム対象事業

令和4年度に育成講座を受講し、補助プログラムに選定された1事業です。

事業名	実施者	事業内容
朝食や防災に備蓄できる 横浜野菜たっぷりの グラノーラ作成 商品名「こめノーラ」	河原真友子	横浜の野菜(余剰品、規格外品)を利用し、伝統食材である焼き米と合わせ、すぐ食べられて、防災備蓄としても活用できる商品開発。 

▶ 令和6年度の補助プログラム対象事業

令和5年度に育成講座を受講し、補助プログラムに選定された2事業です。

事業名	実施者	事業内容
横浜野菜たっぷり・海んちょ特製 「万能味噌タレ」 臭わない! 横浜産ジャンボニンニクのおかずMiso “横浜の恵み”の製造販売	海んちょ	横浜市内の農家から仕入れた臭いが少ないジャンボニンニクを使った「横浜産ジャンボニンニクのおかず味噌(万能味噌だれ)」の製造・販売 
横浜竹林農場 ～横浜の新たな価値を紡ぐ、 竹林という“舞台”づくり～	一般社団法人 横浜竹林研究所	横浜の未活用竹林を整備し、幼竹からメンマを製造するなど再利用することで、新たな「農場」を生み出し、サーキュラーエコノミーの実現を目指す。 



地産地消ビジネス創出支援事業は、横浜の農とみどりを活かし、持続可能で豊かなまちづくりを目指すとともに、脱炭素社会の実現や、横浜グリーンエクスポへのつながりを意識した取り組みです。横浜の魅力を一緒に広げていきたい皆様のご応募を、心よりお待ちしております。